

テーマ／「認知症医療」について

9月13日(木)に、春日市のいきいきプラザにて「認知症医療」についての講演会が行われました。地域にお住まいの、多くの方が参加され、認知症への関心の高さが伺えました。一部ご紹介します。



◆認知症とは？

「認知症とは、いったん正常に発達した知的機能が、持続的に低下し、複数の認知機能障害があるために社会生活に支障をきたすようになった状態で、物忘れ＝認知症ではない」と説明されました。

◆認知症の割合について

「認知症患者は、年々増え続け2025年には700万人を超えると言われ、その原因の多くは、長生きするようになったことが要因」とのこと。ますます大きな問題となってきました。

◆症状の例

症状としては、物忘れ、日時の概念が混乱、意欲低下、物が片付けられないなどがあり、特殊な例として、タンヌスやふすまにガムテープ等で、全部目貼りをしてしまう

というような症状も紹介されました。

◆症状の進行について

「症状のおこり方は、各々で異なりますが、はじめは、日時の感覚がわからなくなり、徐々に場所の感覚や、人が誰なのかわからなくなるというように症状が進行していく」とのことでした。

◆診断の手順

認知症を診断する手順としては、一般的に、病歴・エピソードの確認→姿勢、歩行状態・顔つき→血液検査・尿検査→MRIなど→原因疾患の決定という流れとなります。

また、「認知症は、原因の中に①アルツハイマー型、②脳血管型、③レビー小体型などがあり、認知症の原因の約6割が①アルツハイマー型」と解説されました。

◆治療の原則

「根本的な治療方法はなく、医療(病院)だけでは完結できない。治療の主体はケア(介護)であり、その目標は、症状を緩やかに、問題症状の消失、残っている機能の維持、その人らしい人生が送れるよう援助すること」と説明されました。

◆介護者に求める事

「認知症は、進行性の病気ではあるが、今できることをなるべく維持できるようにお手伝いする。できることは本人が行うようにする。デイサービスを活用する。」などを挙げられました。

認知症は、自分自身や家族にとって身近な病気です。こういった機会に関心を持ち、認知症の方をサポートしていきたいですね。



— 講師紹介 —

筑紫医師会所属
認知症サポート医

池田脳神経外科

院長 池田 耕一氏

[取材協力]

春日市役所 高齢課 高齢者支援担当

〒816-8501 福岡県春日市原町3-1-5 市役所1階

電話：092-584-1111(代表)